

看護学研究

⑥ 1 担当教員名

教授	桑田弘美	(臨床看護学講座)
教授	相見良成	(基礎看護学講座)
教授	佐々木雅也	(基礎看護学講座)
教授	笠原聡子	(基礎看護学講座)
教授	宮松直美	(臨床看護学講座)
教授	河村奈美子	(臨床看護学講座)
教授	立岡弓子	(臨床看護学講座)
教授	喜多伸幸	(臨床看護学講座)
教授	伊藤美樹子	(公衆衛生看護学講座)
教授	辻村真由子	(公衆衛生看護学講座)
准教授	玉木朋子	(基礎看護学講座)
准教授	荻田美穂子	(臨床看護学講座)
講師	山下敬	(基礎看護学講座)
講師	土川祥	(臨床看護学講座)
講師	輿水めぐみ	(公衆衛生看護学講座)

⑤ 2 配当学年等

第4学年 通年 2単位

① 3 学修目標

目的：学部におけるこれまでの学習成果を基盤として、学生各自が看護学上の疑問・関心に基づいて積極的に先行文献を渉猟・検討し、研究課題を見出す。得られた課題に関連の深い専門分野の教員による指導のもとで看護研究を実施する。それらの一連の過程を通して研究方法の基礎について学び、看護学の発展に寄与する素養を身につけることを目的とする。

② 4 授業概要

看護研究方法論で学んだことを基礎とし、配属された卒業研究担当教員のもとで、研究計画を洗練し、看護研究論文を作成する。

③ 5 授業内容

決定しているゼミにおいて、看護研究担当教員の直接指導により卒業論文を作成する。文献の探索から調査や実験を経て、卒業論文の作成に至るまでの一連のプロセスについて詳細に学ぶ。

6 授業形式・視聴覚機器の活用

それぞれのゼミにおける看護研究担当教員の方針・方法に基づく。

⑦ 7 評価方法

論文作成過程および論文内容を総合的に評価する。

提出期限：2023年1月12日(木)

8 テキスト

教科書・参考書は各指導教員の指示を受けること。

なお、参考URLより「論文および抄録作成の手引き」を参照のうえ、規定の書式に基づいて卒業論文を作成し提出すること。

9 学生へのメッセージ

学生は受け身的な態度に終始することなく、積極的に教員と話し合いながら論文作成にあたって欲しい。

10 授業用URL

http://gakunai.shiga-med.ac.jp/hqgaku/soturon_tebiki.PDF

11 主担当教員の実務経験

看護師